

# 派遣留学生帰国報告書

\* 帰国(復学)後の情報を入力してください

記入日	2019/11/17
所属学部・ 研究科・学府	融合理工学府
所属学科・専攻	創成工学専攻 デザインコース

## 1. 留学先について

留学先大学名	アールト大学											
留学先所属学部等	Collaborative and Industrial Design											
留学期間	出発日	2019/1/7	入学日	2019/1/8	修了日	2019/5/31	帰国日	2019/6/18				
住居	大学(紹介)の寮・アパート	<input type="checkbox"/>	民間アパート	<input type="checkbox"/>	その他( )	<input type="radio"/>						
	通学時間	45分					On campus					
	通学方法	バス20分&地下鉄25分										
	居室スペース	<input type="radio"/>	個室	( )	人部屋	その他( )						
	共有スペース	<input type="checkbox"/>	完全個室	<input type="radio"/>	キッチン	<input type="radio"/>	トイレ	<input type="radio"/>	バス	<input type="radio"/>	リビング	<input type="checkbox"/>
食事	自炊	50 %	学食	30 %	外食	20 %	その他	( ) %				
保険	海外旅行保険(名称)	AIG損保										
	派遣先大学指定の保険(名称)							<input type="checkbox"/> 強制加入				
	その他											
渡航ルート	ex.) 成田⇄シカゴ(飛行機)⇄ウィスコンシン(電車)											
	成田	⇄	モスクワ(飛行機)	⇄	ヘルシンキ(飛行機)							

## 2. 留学にかかった費用について

総費用	84万 円								
出どころ									
自費	<input type="radio"/>	貯金	20万 円	<input type="checkbox"/>	アルバイト	円	<input type="checkbox"/>	その他	円
援助	<input type="radio"/>	両親	20万 円	<input type="radio"/>	家族・親戚	4万 円	<input type="checkbox"/>	その他	円
奨学金	<input type="radio"/>	JASSO	40万 円	<input type="checkbox"/>	その他名称( )	円			
その他	<input type="checkbox"/>	千葉大学助成金	円	<input type="checkbox"/>	その他( )	円			

## 2-1. 財政管理の方法

渡航時		現金	10万 円	その他( )	円
留学中	<input type="radio"/>	海外送金	<input type="checkbox"/>	キャッシング	その他( )

## 2-2. 各費用の支払い方法

大学に払った費用	なし
住居にかかった費用	月々5万円程
その他	

## 2-3. 内訳

費目	外貨金額		円貨金額	
	通貨単位			
渡航費(往復)			17万	円
海外旅行保険			12万	円
OSSMA			1万	円
査証・在留許可証			2万	円
住居			25万	円
食費			24万	円
通学に要する交通費			3万	円
教科書、教材費			0	円
その他大学に支払った経費			0	円
光熱費			0	円
その他 ( )				円
その他 ( )				円
その他 ( )				円
その他 ( )				円

## 3. 学業面

履修科目名	種類 <sup>ex.正規、聴講</sup>	単位数	単位互換認定申請の有無			
			<input type="radio"/>	有		無
1 Color and Sensorial Design	正規	10ETC	<input type="radio"/>	有		無
2				有		無
3				有		無
4				有		無

5				有		無
6				有		無
7				有		無
8				有		無
9				有		無
10				有		無

### 3-1. 授業科目の選択、登録方法

WebOodiというウェブサイトがあり、そこで授業の履修登録やシラバスの確認などをする。私はSpring Semesterから行ったが、授業などのガイダンスがあった。

### 3-2. 授業内容、方法に関して

多くの授業はレベルが高く、企業と共同プロジェクトのようなものもある。Collaborative and Industrial Designではグループワークが基本的で、デザインの中でもサービスとビジネスに焦点を置いている。授業内容は講義とグループディスカッション、個人ワークのおおよそ三つで構成されている。どの授業でも最終的に何かを提案し、発表して評価される。

### 3-3. 語学力について

語学力については、フィンランド人学生及び留学生は英語を流暢に話すことができる。講義だけでなく、グループディスカッション、プレゼンも多いので、英会話を難なくできることが求められる。

### 3-4. 図書館など学内施設について

図書館はとてもきれいで、夜遅くまで空いており、作業しやすい場所になっている。デザイン関係における施設は新しく、最新設備が整っており、それぞれの機械に担当しているチューターがついている。手法から実践まで教えてくれ、安全に使用することができる。

### 3-5. その他

## 4. 生活面

### 4-1. 住居について

入学が決まった後、HOASという住宅紹介サービスを紹介される。素直にHOASを利用することが妥当だと思われる。HOASに応募すると一つの家しか提案されないが、家は基本的に余ってないのでそこに決めるのが良いと思われる。私の場合、HOASを使ってエスポーにあるアパートに住んでおり、ドイツ人とフランス人の3人でキッチンやバスルームなどを共有していた。アパートには他にも日本人が5人くらい住んでいた。

### 4-2. 食生活について

フィンランドは、外食が高いのとそこまで美味しくないので、私は基本的に自炊をして過ごしていた。自炊はパンやパスタといった洋食ばかりではなく、米や日本の調味料(醤油)などを近くのスーパーで手に入れることができるので和食も作ることができる。他には、よく学食を利用していた。学食は一食2.6ユーロでお腹いっぱい食べることができる。ランチだけでなくディナーにも使うことができる。

#### 4-3. インターネット環境、携帯電話について

私はDNAという会社のsimカードを使っていた。プリペイド課金性で、インターネット使い放題で一月3000円ほどの安さだった。学内はWi-Fiが完備されていたが、自宅にはWi-Fiがなかったので、インターネットを無制限に使えるsimカードを購入することをお勧めする。

#### 4-4. 服装について

とても寒いので、ダウンや暖かい肌着を持っていくことをお勧めする。靴に関しては、防寒のブーツを持っていったが、普通のスニーカーでも全然大丈夫だった。

#### 4-5. 健康管理について

屋外はとても寒く、厚着をしなければならぬが、屋内はとても暖かいので、汗をかいて体を冷やしてしまうことに注意した方がよい。

#### 4-6. 保険、OSSMAの利用について

使う機会はなかった。

#### 4-7. 課外活動について

デザインにおける課外活動では、美術館巡りを行った。フィンランドの文化的側面での課外活動は、フィンランド内の複数のサウナ巡りやフィンランド人の友達と観光したり、夜ご飯を一緒に食べたりした。また、日本とフィンランド国交100周年を記念するイベントがヘルシンキで開催されたので、そのボランティアに参加した。

#### 4-8. 学外のコミュニティとの交流について

アールト大学内の日本人コミュニティだけでなく、フィンランドで働いている日本人コミュニティとも交流があった。そのコミュニティつながりで、フィンランド人と日本人のサークルでバスケットボールをやったり、サッカーをやったりした。また、ヘルシンキ大学のフィンランド人の友人がいたので、その友人と食事をしたり、旅行に行ったりした。

#### 4-9. 日本から持参してよかったもの

掃除で使うコロコロ。登山用メーカーのダウン。

#### 4-10. 日本から持参したが不要だったもの

防寒用ブーツ、カイロ

## 4-11. 現地での対人関係について気づいたこと(習慣の違い、マナーなど)

公共のサウナに入る時は、ルールやマナーがあるので気をつけた方が良い。例えば、飲み物を持ち込まないなど。フィンランドに限らないが、自分の意見をしっかり言わないと理解してくれない。

## 4-12. 余暇の過ごし方

## 旅行

イタリア・ミラノ(ミラノサローネ見学)2019年2月(5日間)、約5万円

その他 \* 気分転換やストレス発散法など。

夏は夕日が綺麗で日が沈まない。また、浜辺のウォーキングが気持ちいい。冬は毎日暗くて気分も沈むが、コミュニティが開催しているスポーツに参加して運動することが一番いい気分転換になる。

## 5. その他

## 5-1. 留学先大学について

アールト大学は非常にレベルの高い学校で、CoIDではデザインの中でもサービスやビジネスに力を入れている。CoDEではプロダクトデザインに力を入れており、プロトタイプ作りなどのプロダクト系に必要な設備が整っている。

## 5-2. 留学希望者へのアドバイス

ポートフォリオを事前につけておくことやTOEFLやIELTSなどの英語の試験を受けておくことがいいと思われる。

## 5-3. 留学を終えて

アールト大学に行けてよかったと感じている。留学では、日本では学べないようなことを学ぼうと考えており、アールト大学ではそれが実現できる大学であったと感じている。